

式 辞

本日ここに、戦没者ご遺族をはじめご来賓各位のご参列のもと、安芸太田町戦没者追悼・平和祈念式典を執り行うにあたり、戦争により犠牲になられたすべての御霊に対し、安芸太田町を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、戦争によって命を奪われた方々の尊い犠牲と、戦後の国民のたゆまぬ努力の上に築かれたものです。肉親を亡くされ、深い悲しみを抱えながら戦後の苦難に耐え、家族を支えてこられたご遺族の皆様方の努力に対し、心から敬意を表しますとともに、この戦争の惨禍を教訓として、風化させることなく後世に語り継ぎ、平和の尊さを伝えていただいた諸先輩方の取り組みにも、心から感謝を申し上げます。

そうした諸先輩方のたゆまぬ努力にもかかわらず、未だに世界からは戦争の惨禍が消えることはなく、ロシアによるウクライナ侵攻は、開始から1年半が経った今、終息の見通しはおろか、核による威嚇まで飛び出す始末です。

こうした大変厳しい状況の中、本年5月に開催された先進7カ国首脳会議は、被爆地である広島で開催されました。核兵器保有国も含めた各国首脳が原爆慰霊碑を訪れ、真の世界平

和を祈念する「ヒロシマの心」が世界にも伝えられる中、会議ではウクライナ情勢を始め、国際社会が直面する平和と安定への挑戦にどのように対応すべきか議論が行われ、核軍縮に関するG7首脳広島ビジョンが発表されました。

こうした取り組みの積み重ねが、世界の恒久平和実現への一歩となることを心から願うとともに、本町といたしましても、すべての町民が安心し、心豊かな生活を送ることのできる住みよい町を目指し、真の平和の実現に向けて、皆様とともにより一層の努力をしてまいりたい所存です。

結びに、戦没者すべての御霊の安らかなご冥福と、世界の平和と繁栄を願い、併せて本日ここにご参列いただきました皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、式辞といたします。

令和5年8月15日

安芸太田町長 橋本 博明